

千歳橋が江戸時代、武家と商人、工人の町の分岐点であつたことは、松本の人々なら誰もが知っている。この商人達がより多く集まり町を形成したところ、それこそが現在の第一地区的町であり、今まで當々として創り育んできた町。

本町・伊勢町には商人が大店を張り、飯田町では金属・鑄物の工人が、小池町・中町では多くの職人が…というよう一つの町で同業の人々がコミュニケーションを作ってきたようだ。

本町通りを南に歩き、深志神社に出向くと実に多彩な大小の御社が目にに入る。神社に尋ねると元宮の天満宮・宮村宮、八坂神社を別としても数々の神社が祀られ、祭礼が行われていると聞く。例えば造り酒屋の祀る松尾神社であり、鑄物・金属加工業者の祀

商人達がより多く集まり町を形成したところ、それこそが現在の第一地区的町であり、今まで當々として創り育んできた町。

金山神社であり、染色業者人々は愛染神社、町の防災を願つての三峯神社であつたり、それらの多くが現在の第一地区と呼ばれる地域で生きてきた人々が、"地域共同社会"のシンボルとして守り、祭りを楽しんできたと思われる。神社に掲げられている大きな絵馬の数々もこの地域の心の安寧を願つてのものでありますよう。これも神社の話では、大絵馬は学問の塾、寺子屋を経営していた人々が協力して寄贈されたものも多いと聞く。絵馬を描いた絵師も

第一地区的文化・伝統シリーズ⑥ 天神さまに地域をみる ミニユニーク



平成29年11月1日現在
世帯数：849戸(-8)
人口：1542人(-17)
男：736人(-14)
女：806人(-3)



砂山五清 肉筆画／個人所蔵

また、この町の中で人生を楽しんでいたかもしない。深志神社の社宝の一つである絵馬の作者砂山（抱亭）五性関係で松本へ、そして生安寺小路に住まい、松本で没した謎の多い浮世絵師らしい。日本浮世絵博物館には作品はあるようですが、資料は不明らしい。浮世絵博物館の前身酒井コレクションの酒井氏も本町の豪商であり、文化人であり、多面にわたつて力のあった人ではなかつたか。漠然とした知識であつてもこの町の"興味ある歴史"を知ることも全く無駄ではない。更に深めて、掘り下げて知ること、それならより面白い。

野口雨情・中山晋平作の「松本民謡」に「信州松本人馬千駄」と謡われているが、まさに、この本町周辺を見回しての詩に違いない。今後も多くの人々がこの町に生きて多彩なミニユニークーションを重ね、松本のメインタウンとして繁栄していくことでしょう。

旧街道は全てこの町をを目指して繋がっていますから。

Presented by
視聴覚委員会



視聴覚委員会は、公民館や第一地区内の行事、変わりゆく街並みを撮影・記録しています。四季折々の撮影会を通じて、技術向上に努めています。デジカメ講座を開催していますので、ぜひご参加ください。

まちかどフォト
「第1回 松本マラソン」
8時57分、第一地区を駆け抜けるランナー達。



運営委員会(町内公民館長会)



活動内容

公民館活動の推進
視察研修や学習講座を実施

主な行事

視察研修、
人権学習講座の開催

会長からひとこと

地域の歴史と文化を知り、
より住みやすい町づくりのために
活動しています。



運営委員会(緑化推進協議会)

活動内容

緑豊かな住み良いまち
づくりを目指し緑化事業を実施

主な行事

緑の講座の開催

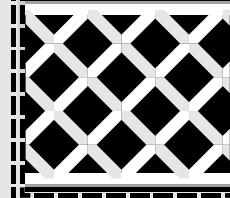


代表からひとこと

花苗等の配布や講座を通じて、
緑や花に触れる機会をより多くの
地域住民に提供できるように
努力しています。

第一地区公民館は、町内公民館長と地区的みなさまによる委員会が設置され、地区的文化や伝統の継承と記録、学習機会の提供など公民館講座や行事を開催しています。今回は、2委員会をご紹介します。

がんばります！公民館委員会



野球シーズンの最後を飾った日本シリーズは、セ・リーグ優勝のソフトバンクが対戦し、ソフトバンクが熱戦を勝利し、8回目の日本一に輝きました。また、長野県の信濃グランセローズが、球団創設11年目で地区優勝とリーグ優勝を見事に達成し喜びもひとしおです。そして注目されたのが、陸上競技の花である100m走で、桐生祥秀選手が9秒98で走り、世界から49年遅れでしたが日本人の悲願だつた10秒の壁を見事突破し、今後も日本選手の何人かが続くことでしょう。また、今年好成績だった競技では、世界柔道で日本は個人男女で金メダル7個・銀4個・銅1個・団体でも金1個、また世界レスリングでも男女で金メダル6個・銀1個・銅2個で、2020年の東京五輪が楽しみです。また、県内出身者も活躍し、世界バドミントンで大町市の奥原希望選手が金メダル、世界陸上50km競歩で小布施町の新井広宙選手が銀メダルを獲得しています。終わりにサッカーの松本山雅は現在J1昇格に厳しい状況ですが、昇格の可能性がある限り最後の最後まで目指すことを願っています。

電車通り

野球シーズンの最後を飾った日

本シリーズは、セ・リーグ優勝のソフトバンクが対戦し、ソフトバンクが熱戦を勝利し、8回目の日本一に輝きました。また、長野県の信濃グランセローズが、球団創設11年目で地区優勝とリーグ優勝を見事に達成し喜びもひとしおです。そして注目されたのが、陸上競技の花である100m走で、桐生祥秀選手が9秒98で走り、世界から49年遅れでしたが日本人の悲願だつた10秒の壁を見事突破し、今後も日本選手の何人かが続くことでしょう。また、今年好成績だった競技では、世界柔道で日本は個人男女で金メダル7個・銀4個・銅1個・団体でも金1個、また世界レスリングでも男女で金メダル6個・銀1個・銅2個で、2020年の東京五輪が楽しみです。また、県内出身者も活躍し、世界バドミントンで大町市の奥原希望選手が金メダル、世界陸上50km競歩で小布施町の新井広宙選手が銀メダルを獲得しています。終わりにサッカーの松本山雅は現在J1昇格に厳しい状況ですが、昇格の可能性がある限り最後の最後まで目指すことを願っています。